

令和6年度 第1回山ノ内町総合計画審議会 議事録（要旨）

開催日・出席者等

開催日時	令和6年11月15日（金） 午前10時から午後12時00分	
場 所	山ノ内町役場 4階 401会議室	
出席者	審議会委員：19名（敬称略・順不同）	※6名欠席
	・山ノ内町議会 総務産業常任委員長	塚田 一男
	・山ノ内町議会 社会文教常任委員長	高田 佳久
	・山ノ内町議会 広報常任委員長	渡辺 正男
	・山ノ内町区長会 会 長	畔上 三行（審議会副委員長）
	・山ノ内町区長会 副会長	芦原 喜久司
	・山ノ内町区長会 副会長	内田 健一
	・山ノ内町区長会 副会長	下田 清人
	・山ノ内町農業委員会 会長代理	福井 敏彦
	・山ノ内町商工会 女性部副部長	春原 厚子
	・北信州森林組合 理事	山口 剛
	・女将の会「ゆのか」 会長	西山 真弓
	・志賀高原観光協会 協会長	山本 光俊
	・北志賀高原観光協会 会長	徳竹 栄子
	・山ノ内町教育委員会 教育長職務代理	山本 均
	・山ノ内町校長会 会長	中村 まゆみ
	・山ノ内町金融団 団長	黒岩 栄仁
	・山ノ内町社会福祉協議会 常務理事	鈴木 浩史
	・山ノ内町保健補導員会 副会長	土肥 美代志
	・審議会委員長	畔上 善治

事務局：6名

・山ノ内町総務課長	古幡 哲也
・山ノ内町未来創造課長	堀米 貴秀
・山ノ内町総務課財政係長	大裕 純人
・山ノ内町未来創造課地域創造係	樋口 淳一
・山ノ内町未来創造課地域創造係	三井 里美
・山ノ内町未来創造課地域創造係	樋口 智章

傍聴者：2名

報道関係：2名

会議事項

1 開 会

- ・公開による会議である旨の説明

2 あいさつ

- ・久保田副町長よりあいさつ

3 新任委員の委嘱

- ・新たに 12 名を委員に任命
- ・委嘱状の交付（机上に設置することにより交付）

4 委員紹介

- ・配布した座席表により紹介

5 報告事項

- (1) 第 6 次山ノ内町総合計画前期基本計画および第 2 期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

- ・資料 1 により事務局から報告

-以下、質疑-

【委 員】

2 ページの観光地利用統計における延利用者数が令和 5 年度達成状況が黒丸(目標達成したが、次年度以降も継続して目標達成を目指す必要があるもの)となっているが、再度確認をお願いしたい。

【事務局】

目標値・基準値を超えていないが、昨年度より利用者数が増えたため、黒丸でなく、黒三角(基準値と同じか下回るが、前年度より向上)に修正します。

【委 員】

9 ページの外国人延宿泊者数が令和 5 年度達成状況が白丸(基準値を超える)となっているが、再度確認をお願いしたい。

【事務局】

基準値を超えていないが、昨年度より宿泊者数が増えたため、白丸でなく、黒三角(基準値と同じか下回るが、前年度より向上)に修正します。

【委 員】

2 ページの関係人口について、全体として人口が増えなくても、関係人口を増やしていくことが地域の活性化に繋がるが、交流人口と関係人口の定義について説明をお願いしたい。

【事務局】

山ノ内町に観光に来ている方を交流人口、ふるさと納税をした納税者延べ人数を関係人口として解釈していただきたい。

【委員】

15 ページの要介護認定者の割合について、評価として二重丸がついているのは良いことなのだろうが、必要な人が認定を受けられないような抑制をかけているようなニュアンスにとれないか。例えば、高齢の人が増えてきたり、団塊の世代の人が散々働いてきて体が弱くなってきている人が多かたりする中で、介護認定の率を下げよう下げようとしている。必要な人に申請してください、介護認定受けてくださいという方向ではなくて、なるべく受けさせないほうが良いというようにとらえられる。その点でこの指標についてあまり賛成できない。

【事務局】

介護認定の手続きについては、その時に必要な人を認定している。町としては、介護認定されないような取り組み・予防事業を進めている結果であり、今回いただいたご意見については、後期基本計画の方に必要に応じて反映する。

【委員】

町の方針として、町内で生産された木材を活用する予定はあるか。

【事務局】

現在、大規模な建物の建設予定はないが、今後ハード事業として話が出れば、意見書の中にも反映を検討する。

エステ株式会社とも連携協定を結び、枝葉で「かおり」を作る事業を始め、町内から出た材料を活用している。

6 会議事項

(1) 実施計画(R7~R9)について

- ・資料2により事務局から説明
- ・当審議会では町が策定する実施計画について、計画の過不足等やこのように事業を進める必要があるなどの意見を取りまとめ、町長に提出し、町に予算編成時での対応を求めているため、各関係団体からご参集いただいている委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただきたい。

【委員】

ふるさと納税特産品贈呈事業の事業方針の記載の中に、昨年度は目標額が記載されていたが、今年度は記載がなく、何か意図があるのか。

【事務局】

説明の中で述べたとおり、将来的 (R8) に7億円を目指していくということで他意はない。

【委員】

実施計画は町のホームページ等で掲載されると思うので、できれば町民の皆さんの目に見える形で記載していただくとよい。

【委員】

観光局活動支援事業について、内容について問題はないが、観光連盟から観光局に移行するときに、観光局の内容・あり方についての説明会を開催することが移行の条件になっていたものの現在に至るまで開催されておらず、多くの不満を持つ方がいる。今後の開催予定が分かればお聞かせ願いたい。

【事務局】

説明会をする予定であるということ、未だなされていないということ両方聞いているが、重要な事項だと考えるので産業振興課を通じてご意見をお伝えする。

理事のほうからも理事会の開催の申入れを観光局に行っており、来週 21 日に開催予定である。その中で上半期の観光局の事業報告、下半期に向けた事業の方針、さらに来年度以降の事業計画を作成するにあたり組織の在り方を含めて課題を洗い出しながら、説明会の早期開催も含めて提案し、実施できるように進めたい。

【委 員】

移住者定住推進事業について、移住の推進を行う際に必ず、移住された方はその区あるいは組へ登録するよう案内をしていただきたい。町に人が入ってきても区に登録されていないと区を預かる立場としては困ることが多い。

【事務局】

現在未来創造課に地域おこし協力隊から職員になった者がいて、地域の活動に積極的に参加しているが、継続してそういう方向に取り組んでいきたい。

【委 員】

誘客促進支援事業について、内容はインバウンドセールスコールの支援事業補助金でよいか。

【事務局】

セールスコール支援事業とファミトリップ支援事業である。

【委 員】

それを踏まえて、トップセールス事業の金額より町内事業者がセールスに行く事業を補助する誘客促進支援事業のほうが金額が少ないのは本末転倒ではないか。町長が不在の日が多く、町内あるいは近隣の主要な行事等に代理出席になっている状況を不安に思う方がいる中で、この計上のしかたは違和感を感じる。

【事務局】

産業振興課に伝え、地域の観光事業者の皆さんとの関係についても考慮しながら今後につなげたい。

【委 員】

今年度はこの補助金の予算が足りずに、後半の対象者に支援できないという事例が発生したので、しっかり対応できるような予算編成を要望する。

【委 員】

財政計画の歳出の費目のうち、補助費等の額が昨年度の計画よりかなり上昇しているが、もう少し詳細を説明願いたい。

【事務局】

観光局への補助金のほかに、地域活性化起業人への負担金が増えている。

【委員】

海外留学支援事業について、募集から結果が出るまでどのようなスケジュールか。

【事務局】

令和6年度は7月中旬から8月中旬までの1か月を募集期間とし、その審査の結果1名が補助対象となった。来年度以降については、担当部署のほうで今年度の課題を踏まえて検討していきたい。

【委員】

3名分を既定の線として計上するのではなく、今回1人という実績と、この事業自体の見極め期間が必要と思うので、1名分の計上で当初予算に盛り込むように検討を願いたい。

【事務局】

ご意見として頂戴し、担当課に伝える。

【委員】

財政計画の歳入の見通しについて、町税の欄に「歳入のおおむね4分の1を占める」という表記があるが、計画額でみると全体の20.98%程度であり、4分の1では25%であるので違うのではないか。

【事務局】

おおむねということで4分の1としたが、記載がややこしいということであれば修正させていただく。

【委員】

今年度はよいので次年度から対応願いたい。

【委員】

ニュースポーツ普及推進事業について、現在総合型スポーツクラブで実施されているニュースポーツを含めた全体の種目数と参加者数は。

【事務局】

ニュースポーツの種目に関しては、ピククルボール、ボッチャ、ペタンク、スケートボードの4種目。人数については手元に資料がない。

【委員】

ニュースポーツも含めた全体の種目数を教えてほしい。

【事務局】

手元に資料がない。

※(3)その他で説明 種目数14、参加者数98。

【委員】

やまびこ広場リノベーションについて、かなり金額が大きいですが、具体的な内容を教えてほしい。

【事務局】

人工芝の老朽化による改修や旧町民プールの跡地の活用、スポーツ施設等を含め、総合

的に広場を利用するための整備を行う。今後、基本設計、実施設計をやっていく中で、皆さんの声を聞きながら必要なスポーツ施設等を整備していく。

【委員】

町制施行 70 周年記念事業について、周年事業としては大きい額が計上されているが、具体的なイベントや事業を想定したものか。

【事務局】

10 年に 1 度の大きな節目の事業であるので、町民が喜びを分かち合い、将来に向けての事業になるように考えているが、内容は町民向けのもの、外部向けのもの、町内の団体が主体的に行う事業への補助等を検討しているところで、金額は頭出しである。

【委員】

前回の周年記念より大きい額であるし、町民の皆さんの感覚を考慮して、予算に負けない事業を検討願いたい。

【委員】

町観光局事業負担金について、令和 7 年度から 8 年度にかけて 1,000 万円近く減っているが、理由は。

【事務局】

令和 7 年度は湯田中駅周辺駐車場整備の費用が多くなっているため、減っているわけではない。

【委員】

町観光局活動支援と町観光局事業負担金の違いは。

【事務局】

活動支援の方は宣伝活動など観光局が主体となって取り組むもので、負担金は観光局と町が連携して取り組むものという区分けとなっている。

【委員】

給食センター自動火災報知設備更新工事について、計画するに至った理由は。

【事務局】

消防設備点検業者から指摘があり、実施する必要があると判断したため。

【委員】

不登校支援（ハード）事業は、拠点を作るということか。

【事務局】

場所は、保健センターの道向かいにある建物で、その土地の購入と屋根の改修を行う。

【委員長】

多くの質問やご意見を頂戴したが、ほかにないようであれば、審議会の意見として取りまとめたいがいかがか。

（異議なし）

【委員長】

なお、意見書の取りまとめは正副委員長と事務局にご一任をいただきたいがいかがか。
(異議なし)

【委員長】

それでは、この実施計画に対する意見書を取りまとめ、町長に提出させていただく。

(2) 第2期山ノ内町まち・ひと・しごと創生総合戦略 第4回改訂(案)について

- ・事務局より資料3
- ・各関係機関からご参集いただいている委員の皆さまからの意見を反映するため、意見を求める。

【委員】

16ページの空き地・空き家バンクマッチング件数について、相談件数が落ち着いてきている理由で10件から5件に目標値を下げるのは後ろ向きであると感じる。

【事務局】

空き家・空き地バンクに登録されている物件と市場に出ている物件とで多少質の違いがあり、物件が動きにくい部分があることから、今回目標件数を減らした。

【委員長】

ほかに意見がないようなため、総合戦略の改訂(案)については以上としたいがいかがか。
(異議なし)

(3) その他

【事務局】

第6次山ノ内町後期基本計画策定に伴うまちづくりアンケート調査内容について説明。

7 その他

- ・とくになし

8 閉会